

【(公財)平和堂財団の若手芸術家等の育成・支援について】

2018年2月1日 滋賀県文化審議会次世代育成部会 資料

1. ＜音楽部門＞

| 事業名 | 内 容 | 平成 28年度 実施結果 |
|-----------------------------|--|--|
| 芸術奨励賞の選考および贈呈による若手音楽家の発掘と助成 | <ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県在住・在職・出身で国内外で活躍し、将来優秀な芸術活動が望める新進芸術家の活動を助成し、本県の文化・芸術の振興ならびに声価を高めることに寄与することを目的として支援 ・高校生以上 ピアノ・管弦打楽器は30才まで、声楽は32才までが応募可能（公募制） ・5名の選考委員による審査にて選考（3名） 第一次選考：書類および音源審査 第二次選考：実演奏選考 ・奨励賞 副賞50万円 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度は2名受賞 堀内 星良（ヴァイオリン）、南 さゆり（ソプラノ） ・平成3年度より実施 平成28年度までの累計受賞者 70名 |
| 芸術奨励賞受賞者の海外留学等助成 | <ul style="list-style-type: none"> ・当財団の奨励賞受賞者が更に専門的な知識や技術を修得するために、海外の教育機関への留学希望者を選考 ・1名、期間1年～2年 ・1か月当たり15万円（年 180万円） | <ul style="list-style-type: none"> ・28年度：久末 航（ピアノ）、中嶋 俊晴（声楽） ・平成23年より新制度で実施 歴代助成者：松永 桃子（クラリネット）、若林かをり（フルート）、大西怜奈（ハープ）、 |
| 芸術奨励賞受賞者への活動支援（1） | <p>①鳩の音楽会（旧名 リサイタルのタベ）</p> <p>当財団の当年度の受賞者と今までの受賞者たちに舞台発表の場を提供するとともに、日頃の演奏活動の成果を紹介するための「鳩の音楽会」を3会場で開催した。抽選による無償招待</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・高槻現代劇場 中ホール 入場者数：415人 ・ひこね市文化プラザ エコーホール 入場者数：303人 ・びわ湖ホール 中ホール 入場者数：619人 |
| | <p>②25周年記念 ガラ・コンサートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・25周年記念事業として20周年に引き続き実施 ・3,200名を超える多数の鑑賞希望者の中から抽選による無料招待 ・30周年にもガラ・コンサート実施予定（2020年1月） | <ul style="list-style-type: none"> ・びわ湖ホール 大ホールにて 入場者：1,700人 ・奨励賞受賞者25名、客員19名、総勢44名による演奏 ・第一部：受賞者を代表するメンバーによるレベルの高い演奏 ・第二部：中堅・若手受賞者によるオペラティックコンサート「カルメン」 |

| 事業名 | 内 容 | 平成 28年度 実施結果 |
|----------------------------|---|---|
| 芸術奨励賞受賞者への活動支援 (2) | 当財団の受賞者による平和堂大型店舗での ミニコンサート の実施 | 滋賀・京阪・北陸地区の平和堂大型店舗17店舗で、2名～4名による演奏を1日2回実施 |
| | 当財団「新進芸術家美術展」会場での ロビーコンサート | 宮本 妥子(打楽器)、西岡まり子(打楽器)、陣内亜紀子(サクソ)による演奏 草津 クレアホールにて美術展最終日に実施 50人 |
| 芸術奨励賞受賞者への活動支援 (3) | 「 音の扉プロジェクト 」による県内小学校へのアウトリーチ活動 | 武田優美(ピアノ)、宮本 妥子(打楽器)、林育子(声楽)、浅川いずみ(打楽器)の4名による演奏会 長浜・甲賀市内小学校 5校にて6回公演 |
| 芸術奨励賞受賞者への活動支援 (4) | 当財団の受賞者主催による 個別コンサート への助成 | 若林かをり、伊藤咲代子、大西伶奈、麻植みやこ氏の開催する各コンサートに実施 |
| 県内 音楽関連団体への助成による若手芸術家等への支援 | ①びわ湖ホール ・オペラへの招待「ドン・キホーテ」への助成 ・声楽アンサンブル学校巡回公演 助成 ・ロビーコンサート 「びわ湖からはばたく」 | |
| | ②ひこね文化デザインフォーラム オーケストラアンサンブル金沢(OEK)による中学生楽器クリニックへの助成 | 午前:彦根東中、彦根西中、彦根中、鳥居本中 午後:彦根中央中、彦根南中、稲枝中 |

2、＜美術部門＞

| 事業名 | 内 容 | 平成 28年度 実施結果 |
|-----------------------------|--|--|
| 芸術奨励賞の選考および贈呈による若手芸術家の発掘と助成 | <ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県在住・出身で国内外で活躍し、将来優秀な芸術活動が望める新進芸術家の活動を助成し、本県の文化・芸術の振興ならびに声価を高めることに寄与することを目的として支援 ・助成対象の部門は日本画、洋画、彫刻、工芸、書の5部門 ・日本画・洋画・彫刻は40才まで、工芸・書は45歳までが応募可能 ・関係団体および県域団体等よりの推薦による応募 ・5名の選考委員による審査にて選考(4名) ・奨励賞 副賞30万円 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度は4名受賞 楠本 衣里佳(日本画)、大西 孝幸(洋画)、津守 愛香(陶芸)、岡田 清香(書) ・平成3年度より実施 平成28年度までの累計受賞者 95名 |
| 芸術奨励賞受賞者への活動支援 (1) | <p>「新進芸術家美術展」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直近15年間の奨励賞受賞者たちの作品を一同に集め受賞者たちの作品の発表の場を提供し、日ごろの創作活動の成果を紹介するための展覧会を実施 ・出陳人数 41名 、出陳点数 45点 | <ul style="list-style-type: none"> ・ビバシティ彦根 ビバシティホール 入場者： 9日間 692人 ・草津市立クレアホール 入場者： 6日間 187人 |
| 芸術奨励賞受賞者への活動支援 (2) | 当財団の受賞者による個展への助成 | 深田 充夫、小泉 広明、福村 真美氏ほか6名に助成 |